

令和5年度 GPU 数理・データサイエンス・AI リテラシー教育プログラム
自己点検・評価結果

点検結果 ○：達成されている △：ほぼ達成されているが、改善の余地がある ×：達成されていない

No.	点検項目	点検結果	点検結果の理由
1	プログラムの履修・修得状況	○	令和5年度は141名の1回生、145名の3回生が履修対象となっていた。休学や欠席の学生を除くと、対象のすべての学生が本プログラムに必要な授業を履修し、単位を修得したことから、履修・修得状況に問題はないと評価できる。
2	学修成果	○	すべての履修者に対して実施している授業アンケートの結果や、科目別の修了状況を分析すると、学生は講義内容を概ね理解しており、学修成果が十分に得られていると評価できる。
3	学生の内容の理解度	○	授業アンケートを通じて、学生の理解度を把握している。授業内容を理解できたかを問う設問において、回答者の8割以上が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答したことから、授業内容の理解度は高く、授業の難易度は適切であると評価できる。
4	他の学生への推奨度	○	授業アンケートを通じて、学生の知的関心の高まりや達成感が得られたかを確認している。知的好奇心が刺激されたとの回答者は5割以上に達し、満足度については回答者の9割以上「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答したことから、他学生への推奨度は高いと評価できる。
5	全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	○	すべての該当科目を全学必修で実施しているため、履修者数と履修率は適切であると評価できる。

6	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	△	毎年、教務厚生課の担当者がすべての修了者の進路を調査している。また、毎年実施している就職ガイダンスやOB・OG就職説明会に参加している企業、病院、薬局関係者などに対してアンケートを実施することにより、本教育プログラムを修了した卒業生の活躍状況を把握する予定である。なお、令和5年度に開始した本プログラムの履修者は、令和8年度に卒業予定であるため、令和9年度以降に評価予定である。
7	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	△	毎年実施している就職ガイダンスやOB・OG就職説明会に参加している企業関係者に対してアンケートを実施することにより、教育プログラムの講義内容・手法について意見を収集する予定であり、現在アンケート調査票の作成に取り組んでいる。
8	数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	○	薬学教育モデル・コア・カリキュラムおよびリテラシーレベルの導入部分に準じた内容を展開し、時事やトレンドなど社会での実例をもとにAIやIoTがどのように活用をされているかを中心に好奇心を促す講義内容としている。授業アンケートを通じて学生の理解度や満足度を把握し、回答者の8割以上が「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答したことから、問題はないと評価できる。
9	内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	○	グリーンファーマシー教育推進センターにて実施している授業アンケートの回答結果や意見を参考として、履修生の「理解しやすさ」、「講義の改善」の観点から本教育プログラムの授業内容や実施方法を調査し、改善を進めている。令和5年度も本集計結果を授業担当教員にグリーンファーマシー教育推進センターからフィードバックし、授業の質保証と改善が確認されたことから、問題はないと評価できる。

令和6年5月
自己点検評価委員会